

# 芝浦アーバンデザイン・スクール



芝浦アーバンデザイン・スクールは芝浦工業大学デザイン工学科建築・空間デザイン領域が進める大学と地域が連携して都市の魅力を再発見再検討するプロジェクトです。環境保全、安全安心、持続経済など都市のあり方と建築の意味が改めて問われています。教育、研究、社会貢献の3つの学びを通して建築、都市、地域の未来を探ります。東京都港区(2013年度～)とさいたま市(2016年度～)と行っています。Shibaura Institute of Technology started Urban Design School Shibaura in 2013 autumn as a project of Universities as the Center of Communities (COC) approved by Minister of Education, Culture, Sports, Science and Technology. The School is an academic and social program aimed at reconsidering cities and the built environment through education, research and service to local communities.

## 1 教育 地域の建築から学ぶ設計演習

アーバンデザイン・スクールにおける教育の柱は地域の空間資源を題材に行政や住民と意見交換して検討し成果を公開する交流型演習です。学生の視野拡大はもとより学生の提案を通して地域が自らを再発見します。デザイン工学科建築・空間デザイン領域3年プロジェクト演習は2015年度まで港区指定文化財木造建築旧協働会館、2016年度は運河沿い築40年のビルThe Harbour Shibauraを取り上げました。2014年韓国CAU、2015年タイKMUTT、2016年マレーシアから協定校を招いて国際ワークショップを開催しました。学生が学外から実務者を招いて自主ゼミナールを企画運営しました。



プロジェクト演習2016 水辺の建築再生  
Renovation of Waterfront Building

## 2 研究 建築を通して都市を捉える

アーバンデザイン・スクールは地域の課題を見える化することを研究の目標としています。

- ①地域の現状を模型・図面・写真に表現する、
  - ②地域が持つ可能性を建築のデザインを通して検証する、
  - ③他地域と比較して対象地域の課題を相対化する。
- 大学の地元港区芝浦・海岸地区の基礎調査を続けています。2013年バンコク、2014年台北、2015年香港、2016年ホーチミンといった東京と同じアジアの水辺都市を訪問しました。2016年度埼玉スタジアムのあるさいたま市浦和美園地区のまちづくりに参加して街並形成のマスタープランを提案しました。



国際建築・空間デザインワークショップ  
International Workshop SIT and UTM



浦和美園デザインスタジオ  
Urawa-misono Design Studio

## 3 社会貢献 都市と地域に開かれた場

アーバンデザイン・スクールはまちづくりの知見と方法を大学と地域が共有することを社会貢献の目標としています。公開講座では住民・行政・企業・学生が同じ場に集まって議論します。展覧会や発表会を通して大学の成果を開示して地域の反応を教育研究にフィードバックします。2013年3回、2014年5回、2015年3回、2016年4回公開講座を行ないました。9月芝浦運河まつりと3月BAYAREA365DAYSには4年連続で出展しました。2016年9月富山県立大学主催COC全国シンポジウムに参加しました。



ホーチミン訪問調査  
Hochiminh City



富山県立大学主催全国COC/COC+シンポジウム  
COC Symposium at Toyama



芝浦運河まつり2016  
Shibaura Canal Festival



港区芝浦港南総合支所知生き人養成講座芝浦港南百景  
Shibaura-konan Townscape Seminar